市長への提言　令和8年9月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
小学校高学年児童が伸び伸びと体を動かせる居場所・広場の拡充について	現在、市内では多くの公園で球技が禁止されており、河川敷は大人や自転車の利用が多く児童には危険が伴います。また、公園や、オープンスクエアでも低年齢の子どもがいるため、思い切り運動できません。すべての世代の子供たちが伸び伸びと活動できるよう、次の2点について検討をお願いします。 1. 学校施設の有効活用とルールの見直しをし、地域ごとに既存の小中学校グラウンド等を運動できるレベルで開放するなど、高学年も気兼ねなく体を動かせる場の確保の検討をお願いします。 2. 京阪本線連続立体交差事業に伴う「高架下空間」を利活用し、雨天でも利用でき、高学年児童が球技や活発な遊びを楽しめる広場やスポーツスペースの整備を提案します。	本市では、子どもが笑顔で健やかに成長できるまちの実現に向けて、子どもたちが地域で安全、安心に遊ぶことができる環境づくりを進めているところです。環境整備にあたっては、子どもたちがそれぞれの発達段階に応じた運動ができるよう配慮が必要であると認識しております。 ご意見にありました学校施設の有効活用につきましては、現在、学校園施設開放事業として、学校運営に支障のない範囲で、平日17時以降や土日祝日に学校施設を開放しており、地域の皆様や保護者の方々、子どもたちで構成する団体など幅広い世代の方々からの利用申請を受けて、スポーツや文化活動の場として活用いただいているところです。 また、放課後オープンスクエアにおいては、同年齢の児童だけでなく、低学年から高学年までの異学年の児童も含む仲間が同じ空間で共に活動する場であるため、すべての児童が安全に過ごせるようルールを設けています。高学年が思いきり運動できる時間を個別に確保するなど、運営面での工夫も行っているところですが、今後も参加する児童の意見を取り入れながらより良い居場所づくりに努めてまいります。 京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業は、事業主体である大阪府をはじめ、京阪電気鉄道株式会社、寝屋川市、本市が連携し、推進しているところです。高架下空間の利活用につきましては、今後の工事の進捗状況を見極めたうえで具体的な検討をしていく予定としており、ご提案を含め、市民の皆様のご意見を踏まえ、本市のまちづくりにとって効果的な整備となるよう取り組んでまいります。 今後も、すべての子どもが楽しく外遊びができる環境づくりに取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。	2026/8/19	2026/9/17	都市整備部 連続立体交差課 総合教育部　新しい学校推進課 学校教育部　放課後子ども課
医療ケア児の保育利用時間について	枚方市の医療ケア児枠で保育所に入所すると延長保育が利用出来ず9時から17時までの預かりとなり、フルタイムでの勤務が難しいです。健常児にはそのような制限はありません。検討をお願いします。	本市では、共働き世帯の増加などにより保育需要が増加する中、保育を必要とされる方々が、保育施設を利用できるよう取り組んでいるところです。 ご意見をいただきました、医療的ケアが必要なお子さんの保育所等での受入につきましては、集団保育の中で安全にお預かりするために、日中の保育時間に加え、延長保育の時間帯についても必要な医療的ケアに対応できる看護師等の職員体制を整える必要があります。しかしながら、現在の体制として、看護師等の確保が困難な状況があり、現行の9時から17時の時間帯においても、入所をお待ちいただいている医療的ケアが必要なお子さんがおられることから、まずはこの時間帯における安定した受入体制を整えることが必要な状況となっています。 一方で、医療的ケアが必要なお子さんについても、必要な配慮のもと、他のお子さんとできる限り同様に、延長保育の時間を含めて保育を利用できる環境を整えていくことは重要であると考えております。引き続き、就労されている保護者の方のニーズにより近づけられるよう、看護師の確保をはじめとする受入体制の充実に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。	2026/8/21	2026/9/24	子ども未来部 公立保育幼稚園課